



マドゥライのシティーマーケットで色とりどりの花を売る様子



ジャズミン畑で花を摘む子どもたち



インド人の親子

世界の地域から

インド共和国・南インド

デカン高原より南の地域は南インドと呼ばれ、北部に比べイスラム文化の影響をあまり受けていない華麗で繊細なドラヴィダ文化を見ることができる。菜食主義者が多く、ほかの地域では感じられないのんびりとした雰囲気の特徴である。





↑ナットムの農村にある農家。
家の中には靴を脱いで上がる

↑早朝のマドゥライの街並み。
昼間は多くの車と人でにぎわう

→ナットムの農業。原始
的な方法でトマトの苗を
植えている

人々・風景」

内陸部にある農村では、美しい風景とともに昔懐かしい風景を
ら海外交流が盛んだったことから、キリスト教文化などの影響を
で溢れかえっている。特に人口の密集している都市部では、多く
お年寄りまで元気で人懐っこい人々に会うことができる。



↑ナットムの小学校で給食を食べる子どもたち。給食は無料で支給されている



↑ナッタムのサンデーマーケット。米や野菜などの食料からスパイス、家畜まで何でも揃っている



↑コーチンにあるチャイニーズ・フィッシング・ネット。コーチン独特の漁法で漁をしている



↑ナッタムの農作業。ドーサという食べ物の原料を脱穀している



←ナッタムのサンデーマーケット。ヤギを連れている老人

「南インドの

南インドは、北部の乾燥地帯に比べ、豊かな自然に囲まれており、見ることができる。また、西岸部はアラビア海に面しており、古くか受けた風景や習慣を見ることができる。

世界第2位の人口を持つインドでは、まちは多くの人たちの熱気
の車から排出される排気ガスのにおいとほこりとともに、子どもから



↑マーケットで手伝いをする子どもたち



↑女性の髪飾りに使うジャスミン畑にて

ヒンドゥー教寺院



↑マドゥライにあるミーナークシ寺院の楼門（ゴープラム）。ドラヴィダ様式でつくられており、壁面は、極彩色で塗られた神々や怪物、神話の場面や動物たちの像によって埋め尽くされている



↑早朝に行われる宗教儀式



↑ディンディグルにある山寺の神像。神像は9体あり、太陽系の惑星の位置を表している

➡マドゥライにあるミーナークシ寺院の内部。本殿への柱廊にある極彩色の天井画と装飾の施された柱列



「宗教の国」と言われるインドには、イスラム教やキリスト教などさまざまな宗教があるが、インド人の約8割がヒンドゥー教徒である。ヒンドゥー教は、インド人の生活や風習など生活社会のあらゆる面に深く根差している。